

**行政改革推進委員会
平成 26 年度第 2 回会議
会 議 概 要**

■日 時：平成 27 年 2 月 2 日（月）14：00～14：40

■場 所：本庁舎 3 階 301 会議室

■出席者：行政改革推進委員会委員

伊藤委員、西垣委員、橋本委員、田丸委員（委員長）、藤枝委員、
岡部委員、平松委員、岡本委員、篠原委員、渡辺委員

事務局

井手之上総務部長、藤崎行政改革推進担当課長、飯島課長補佐、佐藤
古谷政策・自治基本条例担当課長

鈴木人事課長

■欠席者：なし

■傍聴者：なし

■議 事：（1）平成 27 年度第 2 次行政改革プラン改定状況について
（2）答申について

■資 料：資料 1 平成 27 年度第 2 次行政改革プラン改定状況

概 要

1 開 会

【事務局が開会】

2 議 事

（1）平成 27 年度第 2 次行政改革プラン改定状況について

【事務局の説明の後、質疑等を実施】

委員

- ・ 改定額の主な内訳の病院事業会計の健全な運営について、市民病院の指定管理者の指定期間は何年間か。

事務局

- ・ 期間は 8 年間である。

委員

- ・ どの団体が指定管理者になっているのか。

事務局

- ・ 市民病院、うわまち病院ともに公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者となっている。同協会は主にへき地医療に取り組んでいる団体である。

委員

- ・ 市民病院の指定期間はいつからか。

事務局

- ・ 平成 22 年度からである。

委員

- ・ 平成 27 年度改定状況は 27 年度の予算編成を踏まえて作成したと思われるが、事務局と各事業担当部局の間でどのようなプロセスを経て作成したか教えてほしい。

事務局

- ・ 財政部が作成する予算編成方針の中で、行政改革プランに位置づけた事業は確実に実行するように要請し、これに合わせ、各部局が平成 27 年度に新たに見直し等を実施することとした事業をとりまとめ、改定状況を作成している。

委員

- ・ 常勤職員の不補充や受益者負担に関する見直し等、改定状況の中で多様な分野での取り組みがプランに追加されていることが分かり、市が予算編成にあたって見直しの努力を行っていることが理解できた。

委員長

- ・ 其他のご質問等なければ、本委員会は平成 27 年度第 2 次行政改革プラン改定状況について、計画の追加及び見直しが行われていることを確認したということによいか。

各委員

- ・ 異議なし

(2) 答申について

委員長

- ・ 前回の委員会で市長から行政改革に係る計画について諮問を受け、行政改革プランの実績と平成 27 年度予算における見直し状況について審議を行ってきた。
- ・ 各委員に答申書の作成方法について諮りたい。本日、事務局が答申書の案を作成しているため、これをもとに議論を進めたいと思うがいかがか。

各委員

- ・ 異議なし

【事務局が答申書（案）を説明】

委員長

- ・ 答申書の案について意見や質問はあるか。

各委員

- ・ なし

委員長

- ・ 意見等がないため、この答申書の案で、本日付けて答申する。
- ・ 本日の議事は、これで終了する。

3 閉 会

事務局

- ・ 前回の委員会で意見をお伺いした本委員会の委員構成について、より幅広く意見をいただけるよう、行政改革推進委員会条例の「経営者団体及び労働者団体」としてある部分を「関係団体」に改める改正議案を平成 27 年第 1 回市議会定例会に提出する予定である。
- ・ 本日が委員の任期における最終の委員会となる見込みのため、総務部長からあいさつをさせていただき、委員長からあいさつをお願いしたい。

事務局

- ・ 委員の任期である 2 年間、多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
- ・ 厳しい財政状況が続くと予想される中、行政サービスを低下させることなく、行政需要に対応するためには、行政改革を着実に推進していく必要がある。
- ・ 今後も本市の行政改革について、指導をお願いしたい。

委員長

- ・ 本委員会は、横須賀市の行政改革の全体の方向性を示す重要な役割を担っている。
- ・ また、本日の審議内容でもあったが、行政改革プランの進捗状況を適切に管理するとともに、必要に応じて個別の政策分野についても意見を述べ、各部局に伝えて今後の政策への反映を促すという重要な位置づけでもありと考えている。
- ・ 各委員と事務局の協力により今期の 2 年間委員会を運営することができ、感謝している。

事務局

- ・ これで本日の会議は終了となる。

以上